

**平成27年度「起業家教育普及促進事業」
様式1、様式2、様式3の記入要領**

平成27年5月15日

平成27年度起業家教育普及促進事業事務局

様式1関係

⇒申請代表者について

- 起業家教育実施校としての応募の場合は、学校名をお書きください。
- 学校コンソーシアムとしての応募の場合は、幹事校もしくは幹事団体の名前をお書きください。

⇒提出年月日について

- 提出年月日は、応募書類を提出する年月日をお書きください。

⇒代表者について

- 申請代表者である学校、団体を代表する方の情報をお書きください。

⇒事務連絡担当者について

- 申請代表者である学校、団体において、事務連絡の窓口となる方（本事業事務局と直接やりとりする方）の情報をお書きください。

様式2関係

⇒1. プログラムの目的について

- 平成27年度「起業家教育普及促進事業」において起業家教育プログラムを行う目的をお書きください。

例)

- チャレンジ精神と友人を思いやる気持ちに富んだ子どもを育成する。
- 地域の課題を解決する能力を身につけた子どもを育成する。

- 当プログラム以外の他教科・キャリア教育活動等において、当プログラムと接続・連携・つながりを持った内容を計画する場合、その内容をお書きください。

例)

- 社会科で伝記を読む活動を行う際、「困難に立ち向かった歴史上の人物」の伝記を取り上げることで、当プログラムとの連携をはかる。
- 総合的な学習の時間で地域の防災マップを作成するフィールドワークを行う際、地域の課題についても意識させることで、当プログラムとのつながりを持たせる。

- なお、「1. プログラムの目的」に記載した「他教科・キャリア教育活動等との接続・連携・つながり」の内容は、本事業における経費支出の対象となりませんので、ご注意ください。
- 起業家教育実施校としての応募の場合は、学校における起業家教育プログラムの目的、および他教科・キャリア教育活動等との接続・連携・つながりをお書きください。
- 学校コンソーシアムとしての応募の場合は、当コンソーシアムに参加する小中学校それぞれに

ついて、起業家教育プログラムの目的、および他教科・キャリア教育活動等との接続・連携・つながりをお書きください。

⇒2. プログラムの成果指標について

- プログラムの目的達成のため、起業家教育プログラムにより身に付けさせたい資質や能力をお書きください。

例)

➢ 特に身に付けさせたい資質・能力は、「チャレンジ精神」「チームワーク力」「地域課題を把握し、解決策を考案できる能力」である。

- 起業家教育プログラムにより身に付けさせたい資質や能力に関する成果指標をお書きください。

例)

➢ プログラムを受講した児童生徒に行う、プログラム後アンケートにおいて、「なにごとにも積極的にチャレンジするほうだ」と回答する児童生徒が50%以上。

➢ プログラムを受講した児童生徒に行う、プログラム後アンケートにおいて、「友だちと協力して共通の目標を達成することが得意だ」と回答する児童生徒が50%以上。

➢ プログラムを受講した児童生徒のうち90%以上が、地域の課題を把握して、解決策を考案することができる。

- 定量的な成果指標を設定するのが困難な場合、以下のような成果指標を設定することも可能です。

例)

➢ プログラムを受講した児童生徒の多くが、プログラム後アンケートにおいて「なにごとにも積極的にチャレンジするほうだ」と回答する。

➢ プログラムを受講した児童生徒の多くが、プログラム後アンケートにおいて「友だちと協力して共通の目標を達成することが得意だ」と回答する。

➢ プログラムを受講した児童生徒のうち多くが、地域の課題を把握して、解決策を考案する経験を積む。

- 起業家教育実施校としての応募の場合は、学校が身に付けさせたい資質や能力、およびその成果の指標をお書きください。

- 学校コンソーシアムとしての応募の場合は、当コンソーシアムに参加する小中学校が身に付けさせたい資質や能力、およびその成果の指標を、各校についてお書きください。

⇒3. プログラムの内容について

- プログラムの目的や成果指標を達成するために、どのようなプログラムを実施するかお書きください。

- 起業家教育・キャリア教育に関する実績があれば、あわせてお書きください。

- 起業家教育実施校としての応募の場合は、学校で実施するプログラム内容についてお書きください。

- 学校コンソーシアムとしての応募の場合は、当コンソーシアムに参加する小中学校各校で実施するプログラム内容をそれぞれお書きください。また複数の小中学校が合同で実施するワーク

シヨップやイベントの企画等があれば、当企画等についてもお書きください。

⇒4. プログラムのスケジュールについて

- プログラムの内容を、実施期間中の各月にどのような順番で実施するかわかるようお書きください。
- 起業家教育実施校としての応募の場合は、学校で実施するプログラムのスケジュールをお書きください。
- 学校コンソーシアムとしての応募の場合は、当コンソーシアムに参加する小中学校各校で実施するプログラムのスケジュールをそれぞれお書きください。また複数の小中学校が合同で実施する企画等があれば、その月別スケジュールもお書きください。

⇒5. プログラムの実施体制について

- プログラムの実施体制として、校内でどのような実施体制を敷くかお書きください。その際、小中学校の担当教員名を必ず明記するようにしてください。
- 連携するアドバイザー・講師等が存在する場合、当該アドバイザー・講師等の名称と役割をお書きください。
- 首長・教育長等の協力が得られ、首長・教育長等がプログラム実施に関与する場合、氏名・役職と役割をお書きください。
- 起業家教育実施校としての応募の場合、学校におけるプログラムの実施体制をお書きください。
- 学校コンソーシアムとしての応募の場合、当コンソーシアムに参加する小中学校各校内での実施体制をそれぞれお書きください。連携するアドバイザー・講師等が存在する場合、名称と各小中学校に対して果たす役割をお書きください。また、学校コンソーシアムの取り組みに首長・教育長等の協力が得られる場合、氏名とコンソーシアムにおいて果たす役割をお書きください。

⇒6. プログラムの成果測定・報告・発表方法について

- プログラムの成果測定・報告方法についてお書きください。
例)
 - ▶ プログラムを一部でも受講した児童生徒全員に対して、プログラム後にアンケートを配布し、その場で回答してもらう。
 - ▶ アンケートでは、「なにごとにも積極的にチャレンジするほうだ」、「友だちと協力して共通の目標を達成することが得意だ」に対して、「そう思う」「どちらでもない」「そうは思わない」の3択での質問を行う。
 - ▶ 「そう思う」の回答割合が50%以上となったかによって、成果指標が達成できたかを調査し、報告書に記載する。
 - ▶ プログラムの最終回を受講した児童生徒全員に対して、地域の課題を把握して、解決策を考案し、400字程度のレポートとして提出することを求める。
 - ▶ 地域の課題を的確に把握して、合理的な解決策を考案し、レポートとして提出できた児童生徒が90%以上となったかによって、成果指標が達成できたかを調査し、報告書に記載する。

- プログラムの成果を他校、保護者、地域などに向けて発表する会等を開催する場合は、その概要をお書きください。

例)

- 他校教員や保護者、地域の大人を参加者とする成果発表会を行う。
- 当発表会では、児童生徒のうち希望者が、自分が発見した地域の課題とその解決策についてポスター発表を行う。

様式3関係

⇒経費の考え方は、(別添資料2)平成27年度「起業家教育普及促進事業」小中学校における起業家教育モデルプログラム対象経費の考え方、をご参照下さい。

⇒記入例は、次ページをご参照下さい。

以上

(様式3)

消費税抜きの金額をご記入下さい。

経費内訳書

何にいくら支払ったか(単価×数量。内消費税額)をお書き下さい。

経費項目	実施期間中に使用する経費	
	金額 (千円)	主な用途、内訳
I. 人件費		
II. 事業費	773	
・教材費	100	・テキスト 1,080円×100冊=108,000円(内、消費税8,000円)
・会議費	2	・会議お茶代 108円×20本=2,160円(内、消費税160円)
・謝金	50	・講師謝金 10,800円×5本=54,000円(内、消費税4,000円)
・物品購入費	80	・作業用文具品 ●●: 540円×100部=54,000円(内、消費税4,000円) ●●: 324円×100部=32,400円(内、消費税2,400円)
・普及広報費	400	・ホームページの作成・運営 432,000円(内、消費税32,000円)
・印刷製本費	141	・ポスター 100部 12,500円(内、消費税925円) ・チラシ 2000部 10,800円(内、消費税800円) ・冊子 500部 129,600円(内、消費税9,600円)
III. 再委託費		
・(委託先名1)		・
・(委託先名2)		・
IV. 一般管理費		
小計	773	
消費税及び地方消費税	61	
合計	834	※合計額は、50万円以上500万円以下(消費税込)に収めてください。